

内科

便の色について

便の色の変化は腸の健康状態の変化かもしれません。便が赤ければ、腸や肛門からの出血の可能性を考えます。黒い便は胃や十二指腸に存在している酸と血液が混じって出てきたものかもしれません。潰瘍などから大量に出血した場合は、「コールタールのような」や、「海苔の佃煮のような」と表現される、ねばっとした便が出る

ことがあります。便の色のもとであるビリルビンを含む胆汁が十二指腸に十分出でない状態になると、便の色が白や灰色に見えます。胆管に詰まる結石、胆道や膵頭部の腫瘍や、ロタウイルス感染による胃腸炎などで腸管内容物が胆汁と十分混じることなく排泄されると、便は白っぽくなります。緑色の野菜を多く摂り、よく消化されずに排泄されると緑色の便になることがあります。

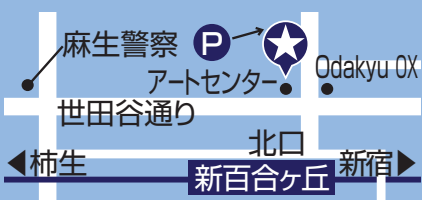
茶褐色の胆汁が酸化すると緑色になり、腸管内が酸性となると緑色調の便が見られることがあります。



福本 学

■ 内科

新百合山手福本内科



☎044-955-8877
麻生区万福寺6-7-2
メディカルモリノビル2F
<http://www.fukumotonaika.jp/>